

作品の塗装工程例



“和”の伝統+カスタマイズ 「水性工芸うるし」をベースにデコレーション

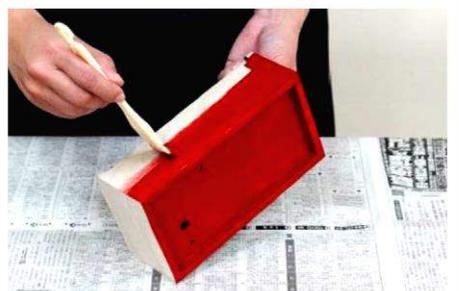


簡単にオリジナルの作品を作りたい！という方には、水性工芸うるしでベースを作ってから、シールなどでデコレーションする方法がお勧め。水性工芸うるしは3回以上塗るとしっかりした色づきになるので、好きな色で下地を作り、様々な素材でデコレーションを楽しめます。上から水性工芸うるしの「透明」を塗れば、デコ素材と作品に一体感が出ます。



「木地研磨 (きじけんま)」

240番ぐらいのサンドペーパーでていねいに研磨します



「1回目の塗装」

水性工芸うるしをハケで塗ります。塗り終わったら、しっかり乾かします



「塗膜研磨 (とまくけんま)」

塗り重ねる時は、400番ぐらいのサンドペーパーで軽く研磨します



「塗り重ね」

水性工芸うるしをハケで塗ります。3回以上塗ると、よりきれいになります



「デコレーション」

素材を貼ってアレンジ。自由にカスタマイズできます。



「透明の上塗り」

デコレーションした上に「透明」を塗ると、つやが増してきれいに仕上がります